

法政大学大学院 人間社会研究科

H o s e i U n i v e r s i t y G r a d u a t e S c h o o l

修士課程

* 福祉社会専攻

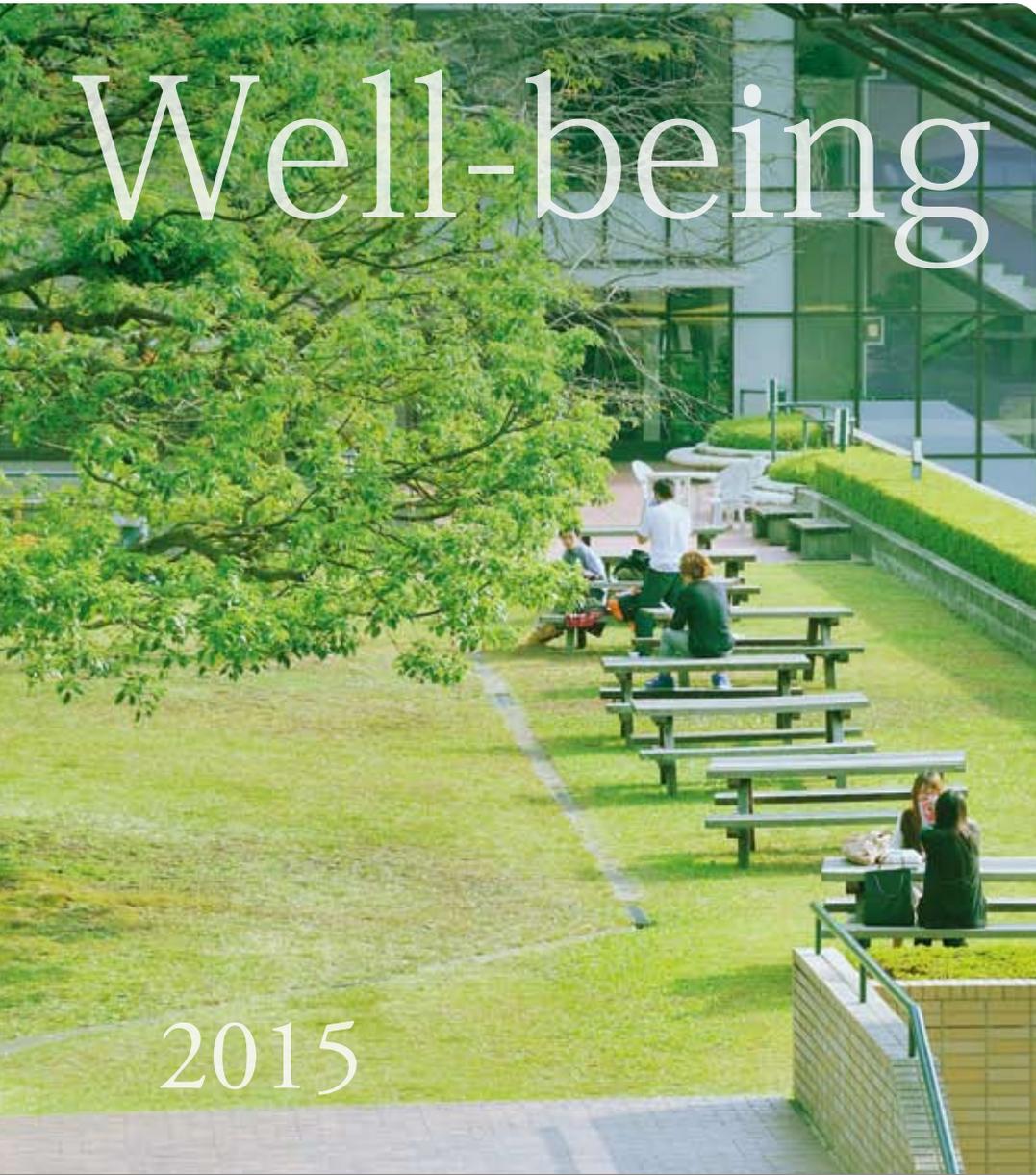
修士課程

* 臨床心理学専攻

(財)日本臨床心理士資格認定協会第1種指定大学院

博士後期課程

* 人間福祉専攻



Well-being

2015



法政大学

“生きる”を学ぶ。あしたに挑む。

人間社会研究科では、人間の“生”(life)をトータルに捉えた教育研究によって、高度な専門能力、深く幅広い知識、そして豊かな人間性を養い、新たな福祉社会の担い手となるプロフェSSIONナルの育成をめざします。

専任教員 人間社会研究科 (2014年度)

宮城 孝 教授 福祉社会 人間福祉
(みやしろ たかし)
人間社会研究科長
研究領域: ボランティア、コミュニティソーシャルワーク、地域福祉計画などの地域福祉方法論
担当科目: 「地域福祉特論」「福祉社会研究法」「福祉臨床系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
主な著書: 「イギリスの社会福祉とボランティアセクター」(中央法規)、「コミュニティとソーシャルワーク」(編著、有斐閣)、「新版地域福祉事典」(編集幹事、中央法規)、「地域福祉と民間非営利セクター」(編著、中央法規)、「ソーシャルワークと社会開発的ソーシャルワークの理論とスキル」(監訳、丸善出版)他
学会活動: 日本地域福祉学会(特任理事)、日本社会福祉学会、日本都市計画学会、日本地域福祉学会連携復興まちづくり研究会副会長

修士課程 **福祉社会専攻**
博士後期課程 **人間福祉専攻**
修士課程 **臨床心理学専攻**
(財)日本臨床心理士資格認定協会第1種指定大学院

石井 享子 教授 福祉社会 人間福祉
(いしい ゆきこ)
研究領域: 保健福祉学、公衆衛生学
担当科目: 「ケアマネジメント特論」「福祉臨床系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
主な著書: 「保健福祉学—利用者の立場に立った保健福祉サービスの展開」(共著、川島書店)、「保健福祉におけるトップマネジメント」(共著、中央法規)、「看護と介護—連携と協働への示唆」(共著、日本看護協会出版会)他
学会活動: 日本公衆衛生学会、米国人老年心理学会、介護福祉教育学会、その他

石川 郁二 教授 福祉社会
(いしかわ いくじ)
研究領域: イギリス18世紀のAlexander Popeの作品、Thames Pathの研究
担当科目: 「原書講読研究」
主な著書: 「英米文学語学論—岡本成顕教授追悼論文集」(共著、桐原書店)、「英文学と結婚」(共著、彩流社)他
学会活動: 英米文化学会、法政大学英文学会

伊藤 正子 教授 福祉社会 人間福祉
(いとう しょうこ)
研究領域: 社会福祉方法論、医療福祉論、異なる民族・文化的背景をもつ人々の社会福祉援助
担当科目: 「ソーシャルワーク理論研究特論」「福祉臨床系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
主な著書: 「生活支援の福祉学」(共著、有斐閣)、「現代社会と福祉—社会福祉原論—新・社会福祉士養成講座4」(共著、中央法規)、「相談援助実習・相談援助実習指導—社会福祉士シリーズ第22巻」(共著、弘文堂)他
学会活動: 日本社会福祉学会、日本ソーシャルワーク学会、医療社会福祉協会、日本移民政策学会

岩崎 晋也 教授 福祉社会 人間福祉
(いわさき しんや)
研究領域: 福祉原理、福祉思想
担当科目: ※今年度はサバティカル(研究専念年度)です。
主な著書: 「援助するということ」(共著、有斐閣)、「社会福祉をつかむ」(共著、有斐閣)、「リーディングス日本の社会福祉1—社会福祉とはなにか」(編著、日本図書センター)他
学会活動: 日本社会福祉学会、社会政策学会、社会事業史学会

岩田 美香 教授 福祉社会 人間福祉
(いわた みか)
研究領域: 児童・家族福祉論、教育福祉論
担当科目: 「児童福祉特論」「福祉臨床系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
主な著書: 「現代社会の育児不安」(単著、家政教育社)、「子どもにやさしい学校—インクルーシブ教育をめざして」(共著、ミネルヴァ書房)、「子どもの貧困白書」(共著、明石書店)、「福祉国家と家族」(共著、法政大学出版局)、「社会的孤立問題への挑戦—分析の視座と福祉実践—」(共著、法律文化社)他
学会活動: 日本社会福祉学会、日本学校ソーシャルワーク学会(理事)、日本ソーシャルワーク学会、日本保健福祉学会(理事)、日本司法福祉学会等

大山 博 教授 福祉社会 人間福祉
(おおやま ひろし)
研究領域: 福祉政策
担当科目: 「ソーシャルポリシー特論」「福祉政策系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
主な著書: 「社会政策と社会行政」(共著、法律文化社)、「保健・医療・福祉の総合化を目指して」(共著、光生館)、「ふれあいのネットワーク」(共著、NHKブックス)、「福祉国家への視座」(共著、ミネルヴァ書房)、「ソーシャルインクルージョンと社会政策の役割」(共著、ぎょうせい)、「福祉政策の形成と国家の役割」(単著、ミネルヴァ書房)他
学会活動: 日本社会福祉学会、日本社会政策学会、日本社会福祉法学会、日本居住福祉学会

岡崎 昌之 教授 福祉社会 人間福祉
(おかさき まさゆき)
研究領域: 地域経営
担当科目: 「地域経営特論Ⅱ」「地域・政策系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
主な著書: 「地域経営」(放送大学教育振興会)、「都市・地域経営」(共著、放送大学教育振興会)、「市民社会とまちづくり」(共著、ぎょうせい)他
学会活動: 自治体学会(顧問)、日本計画学会、地域公共政策学会(理事)

小野 純平 教授 臨床心理学 人間福祉
(おの じゅんぺい)
研究領域: 臨床心理学、発達心理学、心理検査学、心身障害学
担当科目: 「臨床心理査定実習」「臨床心理学(病理・発達)特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
主な著書: 「子どもを理解する」(共著、へるす出版)、「臨床心理学30年」(共著、日本文化科学社)、「日本版KABC-IIマニュアル」(共著、丸善出版)、「リハビリテーション患者の心理とケア」(共著、医学書院)他
学会活動: K-ABCアセスメント学会(副理事長)、日本心理臨床学会、日本内観医学会(理事)、日本LD学会等

金築 優 准教授 臨床心理学
(かねつき まさる)
研究領域: 臨床心理学、認知行動療法
担当科目: 「臨床心理学特論」「カウンセリング特論」「臨床心理実習」
主な著書: 「大学生の心配に対するメタ認知に焦点を当てた認知行動的介入の効果」(共著、感情心理学研究17(3))2010年、「感情への恐れとストレス反応の関連性—日本語版、Affective Control Scaleの作成を通して—」(共著、感情心理学研究18(1))他
学会活動: 日本行動療法学会、日本認知療法学会、日本感情心理学会、日本パーソナリティ学会、日本心理学会、日本心理臨床学会等

久保田 幹子 教授 臨床心理学 人間福祉
(くぼた みここ)
研究領域: 臨床心理学、心理療法(森田療法、カウンセリングなど)、心理査定
担当科目: 「臨床心理基礎実習」「臨床心理学(病理・発達)特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
主な著書: 「臨床精神医学講座5—神経症性障害・ストレス関連障害」(共著、中山書店)、「心理療法プログラム「森田療法」」(共著、ミネルヴァ書房)、「こころの医学事典」(共著、講談社)、「カウンセリングプロセハンドブック」(共著、金子書房)他
学会活動: 日本森田療法学会(事務局長、常任理事、編集委員、研修委員)、日本サイコロセラピー学会(理事、編集委員)、内観医学会等

福祉社会専攻担当 福祉社会 臨床心理学専攻担当 臨床心理学 人間福祉専攻担当 人間福祉

佐藤 蘭美 准教授 福祉社会
(さとう まゆみ)
研究領域: ソーシャルワーク(特に終末期ケアを中心として)、当事者および家族への支援(セルフヘルプ・グループを中心として)
担当科目: 「ソーシャルワーク特論Ⅱ」「福祉社会研究法」「福祉臨床系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
主な著書: 「新版 高齢者の財産管理の実務」(共著、新日本法規出版)、「自閉症の人の死別経験とソーシャルワーク」(単著、明石書店)、「自閉症と発達障害研究の進歩2006 Vol.10」(共著、星和書店)他
学会活動: 日本社会福祉学会、日本ソーシャルワーク学会、日本臨床死生学会等

眞保 智子 教授 福祉社会
(まほ さとこ)
研究領域: 若者支援論、人的資源管理論、キャリアデザイン
担当科目: 「福祉社会特論Ⅰ」
主な著書: 「ビジネス実務総論」(共著、雄飛野書院)、「演習問題式—精神保健福祉士になる最短合格法」(共著、中経出版)、「クローカル時代の社会学—社会学の視点で読み解く現代社会の横相—」(共著、株式会社みらい)他
学会活動: 日本労働学会、日本職業リハビリテーション学会、日本うつ病学会、日本キャリアデザイン学会

末武 康弘 教授 臨床心理学 人間福祉
(すえたけ やすひろ)
研究領域: 臨床心理学、カウンセリング・心理療法
担当科目: 「臨床心理面接特論」「臨床心理基礎実習」「臨床心理学(心理・地域)特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
主な著書: 「ロジャーズを読む」(共著、岩崎学術出版社)、「ロジャーズ主要著作集(全3巻)」(共訳、岩崎学術出版社)、「エビデンスにもとづくカウンセリング効果の研究」(監訳、岩崎学術出版社)、「ジェンズドリン哲学入門」(共編著、コスモスライブラリー)他
学会活動: 日本心理臨床学会、日本人間性心理学会、日本心理学会、World Association for Person-Centered and Experiential Psychotherapy and Counseling

岡司 直也 准教授 福祉社会
(おさ なおや)
研究領域: 農業経済学、農山村政策論、地域資源管理論
担当科目: 「地域空間学特論Ⅱ」「福祉社会研究法」「地域・政策系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
主な著書: 「農山村再生に挑む」(共著、岩波出版)、「農山村再生の実践」(共著、農山漁村文化協会)、「改革時代の農業政策—最近の政策研究レビュー—」(共著、農林統計出版)、「若者と地域をつくる—地域づくりリソナントに学ぶ学生と農山村の協働—」(共著、原書房)他
学会活動: 日本農業経済学会、政治経済学・経済史学会、農業問題研究会、農村計画学会、日本村落研究学会

高取 康之 准教授 福祉社会
(たかとり やすゆき)
研究領域: 異文化コミュニケーション、英語教育、経営学(マーケティング)
担当科目: 「原書講読研究」(本年度非担当)
学会活動: 英米文化学会

土肥 将敦 准教授 福祉社会
(どい まさあつ)
研究領域: ソーシャル・イノベーション、社会的企業家、CSR、企業と社会
担当科目: 「福祉社会特論Ⅳ」
主な著書: 「ソーシャル・イノベーションの創出と普及」(共著、NTT出版)2013年、「ソーシャル・エンタプライズ論」(共著、有斐閣)、「近刊、ソーシャル・エンタプライズ:社会的企業の台頭」(共著、中央経済社)2006年、「CSR経営:企業の社会的責任とステイクホルダー」(共著、中央経済社)2006年
学会活動: 組織学会、日本経営学会、社会・経済システム学会、企業と社会フォーラム(Japan Forum of Business and Society)

中村 律子 教授 福祉社会 人間福祉
(なかむら りつこ)
研究領域: ①老いの社会的変化や高齢者福祉制度・政策の形成過程分析②都市部および過疎農山村地域における高齢者の生活世界と福祉制度利用に関する研究
担当科目: 「高齢者福祉特論」「福祉社会研究法」「福祉社会系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
主な著書: 「ネパールの高齢者福祉制度と“sewa”(世話)という規範」荒木誠之他編「社会保障法・福祉と労働法の新展開」(295-312)信山社、「実践としてのコミュニティ移動・国家・運動」共著、京都大学出版会
学会活動: 日本社会福祉学会、日本地域福祉学会、日本社会学会

長山 恵一 教授 臨床心理学 人間福祉
(ながやま けいいち)
研究領域: 比較精神療法、精神医学
担当科目: ※今年度はサバティカル(研究専念年度)です。
主な著書: 「Naikan Therapy—Techniques and principles for use in clinical practice—」(共著、大連学院)、「内観法—実践の仕組みと理論」(日本評論社)、「森田療法と精神分析的精神療法」(誠信書房)、「依存と自立の精神構造—清明心と型の深層心理」(法政大学出版局)、「心理療法の本質—内観療法を考へる」(共著、評論社)他
学会活動: 日本内観医学会(理事長)、日本サイコロセラピー学会(理事)、日本心理療術学会連合(理事)

丹羽 郁夫 教授 臨床心理学 人間福祉
(にわいくお)
研究領域: 臨床心理学、コミュニティ心理学
担当科目: 「心理臨床実習」「臨床心理実習」「臨床心理学(心理・地域)特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
主な著書: 「コミュニティ心理学入門」(共著、ナカニシヤ出版)、「よくわかるコミュニティ心理学」(共著、ミネルヴァ書房)、「医療・看護・福祉のための臨床心理学」(共著、培風館)他
学会活動: 日本心理臨床学会、日本コミュニティ心理学会(副会長、編集委員)、日本学生相談学会、日本社会心理学会、日本心理学会

服部 環 教授 臨床心理学 人間福祉
(はっとり たまき)
研究領域: 教育心理測定学、心理データ解析
担当科目: 「福祉社会特論Ⅱ」「データ分析法」「臨床心理学(心理・地域)特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
主な著書: 「心理—教育のためのRによるデータ解析」(単著、福村出版)、「日本版K-ABC-II」(共著、丸善出版)、「使える」教育心理学」(監修・共著、北樹出版)、「IQ&A心理データ解析」(共著、福村出版)他
学会活動: 日本教育心理学会(編集委員長)、日本テスト学会(監事、編集委員)、K-ABCアセスメント学会(常任理事)、日本心理学会、日本応用心理学会、日本行動計量学会

馬場 憲一 教授 福祉社会 人間福祉
(ばばけんいち)
研究領域: 文化環境政策(文化環境創造論)、文化遺産学、歴史学(日本地域史)
担当科目: 「地域空間学特論Ⅰ」「福祉社会研究法」「地域・文化系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
主な著書: 「地域文化政策の新視点—文化遺産保護から伝統文化の継承へ」(雄山閣出版)、「近世都市周辺の村落と民衆」(雄山閣出版)、「多摩の代官」(共著、けやき出版)、「文化遺産の保存活用とNPO」(共編、岩田書院)他
学会活動: 日本文化政策学会、日本エコミュージアム研究会(理事)、日本博物館学会、地方史研究協議会

布川 日佐史 教授 福祉社会 人間福祉
(ふかわひさし)
研究領域: 公的扶助、社会保障、雇用政策
担当科目: 「社会思想史研究」「生活問題特論」「福祉政策系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
主な著書: 「生活保護の論点」(単著、山吹書店)、「雇用政策と公的扶助の交錯」(共著、御茶の水書房)、「Das letzte Netz sozialer Sicherung in der Bewahrung」Nomos Verlag, 2012(共著)他
学会活動: 貧困研究会(貧困研究)編集委員長

水野 雅男 教授 福祉社会 人間福祉
(みずの まさお)
研究領域: 地域経営論、市民活動運営論
担当科目: 「都市・住宅政策特論Ⅰ」「地域・文化系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
主な著書: 「地方都市の再生戦略」(川上光彦共著/学芸出版社)、「生活圏」(日本建築学会編共著/学芸出版社)、「北陸におけるリゾート開発の可能性」(共著/NIRA研究叢書)、「農山村における都市内企業労働者のメンタルヘルス・プログラムの構築と評価手法の実証的研究」(農林水産政策研究レビュー第55号)他
学会活動: 日本建築学会、日本都市計画学会、日本NPO学会、日本予防医学会

皆川 邦直 教授 臨床心理学 人間福祉
(みなかわくにお)
研究領域: 児童青年精神医学、精神分析学
担当科目: 「精神医学特論」「力動的心理学特論」「臨床心理学(病理・発達)特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
主な著書: 「精神分析セミナー①~⑤巻」(共著、岩崎学術出版会)、「青春期患者へのアプローチ」(診療新書)、「精神分析的診断面接のすすめかた」(編著、岩崎学術出版会)、「森田療法と精神分析的精神療法」(共著、誠信書房)他
学会活動: 精神分析学会(認定精神療法医、認定スーパーバイザー)、精神分析協会(継続分析家)、思春期青年期精神医学会(会長)、国際精神分析学会等

保井 美樹 教授 福祉社会 人間福祉
(やすい みき)
研究領域: 都市・地域計画論、計画行政、自治システム研究
担当科目: 「地方自治特論Ⅱ」「地域・政策系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
主な著書: 「都市再生のデザイン—快速・安全の空間形成」(大西隆他編 有斐閣)、「大都市圏再編への構想」(小玉徳編 東京大学出版会)、「連携とネットワークによる災害に強いまちづくり」(東京大学出版会)、「「負担者自治」という観点から見た米国BID制度の評価に関する研究」(都市計画)他
学会活動: 日本都市計画学会、日本計画行政学会、American Planning Association

湯浅 誠 教授 福祉社会
(ゆあさ まこと)
研究領域: 社会的包摂・貧困問題、民主主義
担当科目: 「福祉社会特論Ⅲ」
主な著書: 「ヒーローを待っていても世界は変わらない」(朝日新聞社)、「反貧困」(岩波新書)、「なぜ活動家と名乗るのか」(ちくま文庫)

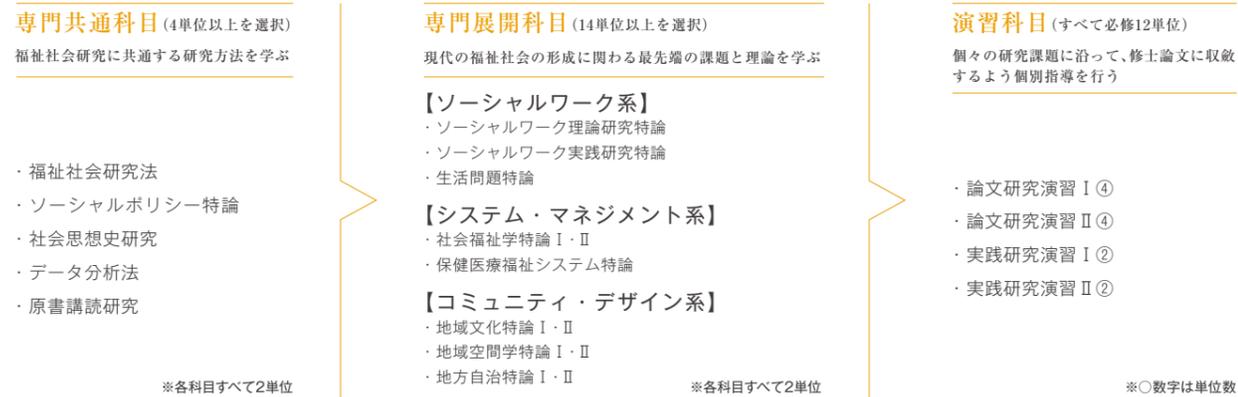
福祉社会専攻

修士課程

Major in social services

本専攻では、福祉社会と福祉国家の連携・協働を図り、国民一人ひとりのWell-beingの実現を支援することができる、高度専門職業人(ソーシャルワーカー、ケアマネージャー、コミュニティ・プランナー等)と研究者の養成をめざします。カリキュラムは、専攻の基礎となる「専門共通科目」、ソーシャルワーク系、システム・マネジメント系、コミュニティ・デザイン系の3つの系からなる「専門展開科目」、修士論文の指導やフィールドワークを通して研究指導を行う「演習科目」によって構成されています。授業は基本的に木・金曜日(一部土曜日を含む)に行い、2011年度から市ヶ谷キャンパスにて、夜間(月・火)に福祉コミュニティ創造関連科目の一部を開講しています。また、長期履修制度を導入するなど、社会人の方にも学びやすい環境・制度を整えています。

≫ カリキュラム構成図 (一部抜粋)



≫ 修了生の研究テーマ (抜粋)

- ・ 大都市地域における高齢者施設の発展を阻害する要因に関する研究 - 青島市の市内4区・21ヶ所の高齢者施設の責任者を対象とした調査から -
- ・ 小地域におけるソーシャル・サポート・ネットワークの意義とその形成の要因 - 大都市部の実践事例を通して -
- ・ 精神疾患・障害を抱える人の母親における意識変容と家族会機能 - 個別のライフ・ストーリー分析を通して -
- ・ 10代で出産したシングルマザーの生活困難 - 母子生活支援施設利用者のライフコース分析を通して -
- ・ 農村における女性起業家達が担う活動が地域づくりに与える影響とその役割
- ・ 介護従事者の仕事意欲測定尺度開発およびその関連要因
- ・ 民間通所介護サービスの準市場化における経営効率性と社会的責任
- ・ 村組の持続と終焉からみた地域コミュニティの変容

仕事をしながら通学する先輩 VOICE!



仕事と研究を両立している社会人学生のインタビュー記事掲載サイトもあわせてご覧ください。

Message



▶ 教員
保井 美樹 教授
研究領域: 都市・地域計画論、計画行政、自治システム研究

少子高齢化、地域経済の衰退などの課題に対応しつつ、様々な地域資源を活かして、地域の将来を描き、実践する仕組み(地域マネジメント)について研究しています。本研究科は、多彩な研究分野の教授陣との密接な関わりの中で、フィールドに根ざした研究を進められることが大きな特徴です。修了生は、高い専門知識と研究・実践能力を活かして、各分野で活躍しています。仕事や生活の中で気になる社会課題を、人間社会研究科で共に深く、社会に還元しませんか。そんな実践的研究ができる仲間や教授陣が、ここにはいます。



▶ 在学学生
室岡 康平 さん
2013年入学
法政大学現代福祉学部卒業

私は愛媛県内子町の出身で、「農山村へ向かう若者の変容」について研究しています。日本の課題先進地域である農山村や被災地。そこに今、私たち若者が志をもって活動する動きが急速に増えており、なぜ農若者は農山村へ向かうのか、という疑問をもつようになったからです。将来は日本の農山村に貢献できる人材となることを目指しています。そのような夢がもてたのも、先生方から厚くご指導いただき、「地域」の捉え方や、地域課題の解決に向き合うための様々な方法を専門的に学ぶことができるこの研究科だからこそだと強く感じています。一歩踏み出すことで視野が大きく広がり、「その先の自分を創る」にふさわしい研究科です。



▶ 修了生
大田 佳奈 さん
2013年修了
神奈川県保健福祉局 勤務
(出先機関: さがみ緑風園)

私は在学中「コミュニティを対象としたアート活動の研究」をテーマに研究に取り組みました。当研究科は「人」に焦点を置くことで、様々な角度から研究テーマを捉えることができ、同時に研究分野を超えて、様々な分野の先生方からもご指導いただけることが大きな魅力です。私は今、行政の立場から福祉に携わっていますが、大学院で培った多角的視点がおおいに役立っています。福祉や地域といった分野にとらわれることなく、人を取り巻く環境について柔軟に多角的なアプローチができる当専攻は、向学心に燃える皆さまの可能性を広げるうってつけの学習環境と言えるでしょう。

臨床心理学専攻

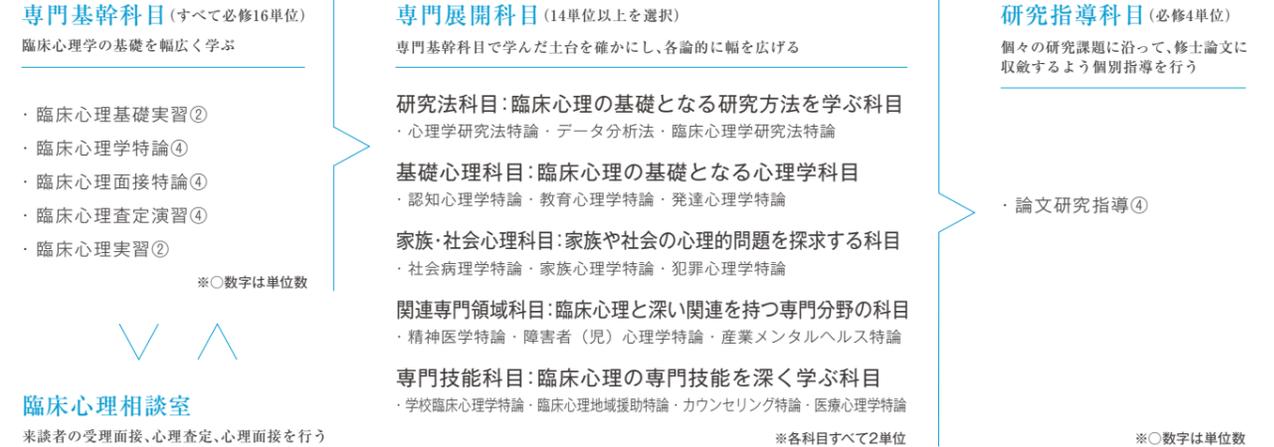
修士課程

(財)日本臨床心理士資格認定協会第1種指定大学院

Major in clinical psychology

近年頻発する児童や青年の事件で繰り返し指摘されるように、心のケアは社会全体において緊急の課題となっています。本専攻ではこうした社会的ニーズに応え、心のケアの専門家としての臨床心理士を養成します。また、心のケアは単に教育の領域にとどまらず、医療や福祉、司法・矯正、企業のメンタルヘルス、さらにはコミュニティの再生・創造の問題とも密接に関わっており、このような臨床心理学へのニーズの多様化・高度化に対応した高度職業人と研究者の養成をめざします。カリキュラムは、臨床心理学を学ぶための基幹を修得する「専門基幹科目」、それらをより深く展開するための科目と各論的に幅を広げる科目からなる「専門展開科目」、修士論文の指導を行う「研究指導科目」によって構成されています。

≫ カリキュラム構成図 (一部抜粋)



臨床心理相談室

来談者の受面接、心理査定、心理面接を行う

≫ 修了生の研究テーマ (抜粋)

- ・ 入院森田療法患者の体験分析
- ・ 中学校教師のメンタルヘルスに関する実証的研究
- ・ 大学生の恥意識についての研究 - 対人恐怖心性と回避的傾向、及び心理的自立との関連から -
- ・ 自己受容と育児不安の関連について - 夫婦関係の観点から -
- ・ 喪失後の悲嘆反応と心理的变化が遺族の回復に及ぼす影響 - 侵入心像との関連に注目して -
- ・ 内観体験における心理的変容について - アイデンティティと愛着の観点から -

Message



▶ 教員
服部 環 教授
教育心理測定学、心理データ解析

臨床心理学専攻では、臨床心理学や精神医学を専門とし、最前線で活躍する教員が学生を指導しています。座学だけでは臨床の力を培うことはできませんから、学生は臨床心理相談室や病院、さらに精神科クリニックで専門性の高い実習を受けます。修士論文の作成では、研究室の垣根を越えて教員から指導を受けることができます。こうしたところに私たちの研究科の特長があります。学部で心理学を専門としていなくても大丈夫です。第一に臨床心理学の適性を備え、勉学に強い意志を持って臨めることが大事です。



▶ 在学学生
光野 絢香 さん
2013年入学
法政大学現代福祉学部卒業

近年の心の病が増加傾向にあるという背景から、うつ予防に関心がありました。現在は抑うつ持続という観点から、抑うつ気分に対する反応に着目した研究を行っています。本研究科は先生方との距離も近く、幅広い視点からの指導を受けることができます。また医療現場など実習の場の豊富さも魅力の一つです。実習では専門的な知識や技術の習得だけでなく、他職種の方と関わることができたのも良い経験となりました。将来は、臨床心理士として医療を通じて社会に貢献できるよう、日々精進していきたいと思っています。



▶ 修了生
星加 志苑 さん
2011年修了
メンタルクリニック 勤務

私は現在、メンタルクリニックで働き、心の悩みを抱えている方々を対象に、心理療法を行っています。大学院では、臨床心理学の援助の知識や技術に加えて、私たちが人と関わっていく時に守らなくてはならない職業倫理や、援助職としてのあり方について教えられる機会が多かったと感じています。私たちが患者さんに対して実際に提供できることには限りがあるのですが、目の前にいる人の痛みに寄り添って、その人がその人らしく生きていけるために何が最善なのかを考える姿勢を、大学院では教えられたように思います。

人間福祉専攻

博士後期課程

Major in social services and clinical psychology

人間社会を構成する生活者のWell-beingを実現するためには、これまで積み重ねられてきた社会福祉実践の展開に加えて、「心のケア」から「コミュニティプランニング」までを含んだトータルな実践が必要とされています。こうした総合的な人間福祉を実現するための理論研究は、21世紀の福祉社会を展望する上で重要な課題といえるでしょう。人間福祉専攻は、修士課程の教育研究をさらに発展させ、地域社会を基盤に人間の「生」(life)をトータルに捉え、新しい福祉社会の構築に関する研究者の養成をめざします。カリキュラムは、福祉・コミュニティ・臨床心理に関わる特殊研究・講義と人間福祉特別演習からなりますが、博士後期課程は科目を履修することが主目的ではなく、研究指導を受け博士論文をまとめることを目的としています。

≫ カリキュラム構成図 (一部抜粋)

必修科目

個々の研究課題に沿って、博士論文に取次するよう個別指導を行う

- ・人間福祉特別演習Ⅰ
- ・人間福祉特別演習Ⅱ
- ・人間福祉特別演習Ⅲ

※各科目すべて4単位

選択・必修科目 (8単位以上を選択)

各領域の重要かつ先端的な研究動向について学ぶ

- ・福祉政策系特殊講義Ⅰ
- ・福祉政策系特殊講義Ⅱ
- ・福祉社会系特殊講義Ⅰ
- ・福祉社会系特殊講義Ⅱ
- ・福祉臨床系特殊講義Ⅰ
- ・福祉臨床系特殊講義Ⅱ
- ・地域・政策系特殊講義Ⅰ
- ・地域・政策系特殊講義Ⅱ
- ・地域・文化系特殊講義Ⅰ
- ・地域・文化系特殊講義Ⅱ
- ・臨床心理系(心理・地域)特殊講義Ⅰ
- ・臨床心理系(心理・地域)特殊講義Ⅱ
- ・臨床心理系(病理・発達)特殊講義Ⅰ
- ・臨床心理系(病理・発達)特殊講義Ⅱ

※各科目すべて2単位

≫ 修了生の研究テーマ (抜粋)

- ・近現代における遺跡保護とその担い手に関する研究 - 制度・政策と地域社会の動向をふまえて -
- ・アメリカ大都市における包括的コミュニティ開発の形成と課題
- ・日本における市民活動の形成と社会的位置に関する研究 - 1970~80年代より活動を続ける市民活動団体に着目して -
- ・教師のメンタルヘルス規定因とバーンアウトに関する多角的な研究 - 教師Well-being尺度の作成 -
- ・介護老人福祉施設における経営成果とその影響要因に関する研究 (介護保険制度下における施設経営への制度的・組織的要因に関する実証分析)
- ・自ら支援を求めない独居高齢者への地域を基盤としたアウトリーチ実践に関する研究
- ・教育相談群と病院群の思春期の子どもと母親の比較研究 - 子どもの精神・行動症状と母親の対象関係を中心に -

Message



▶ 教員

宮城 孝 教授
研究領域: ボランティア、コミュニティソーシャルワーク、地域福祉計画などの地域福祉方法論

本専攻では、この人間社会において、いかにWell-beingを実現するかについて、多角的な視点やアプローチでの研究を支援いたします。複雑で不透明な現代社会における諸問題の解明には、鋭い問題関心、高度な研究方法と研究の遂行能力が求められます。本専攻では、各指導教員の手厚い指導・助言と共同による研究の進行によって、近年では、毎年複数の博士学位取得者を出しております。自立した学究者としてその研究能力を高め、人間社会の幸福実現に寄与したいと意欲のある方の応募を教員一同お待ちしております。



▶ 在学生

安保 直子 さん
2013年入学
言語聴覚士

失語症をもつ人の意思疎通支援に関する研究を行っています。博士論文の作成は苦行の連続ですが、先生方から鋭く的確なご教授を頂ける有難さや、同じ志をもつ仲間からの励ましに支えられ、研究ができることに幸せを感じる日々です。仕事との両立で思うように集中できないもどかさもありますが、日常に実践の場があるからこそ見えてくる課題や発見も多く、社会人が研究の場に身を置くことの意義は大きいと思います。また本学はサポート体制も充実しており、恵まれた環境で研鑽を積むことができます。



▶ 修了生

仁科 伸子 さん
2012年修了
熊本学園大学社会福祉学部 准教授

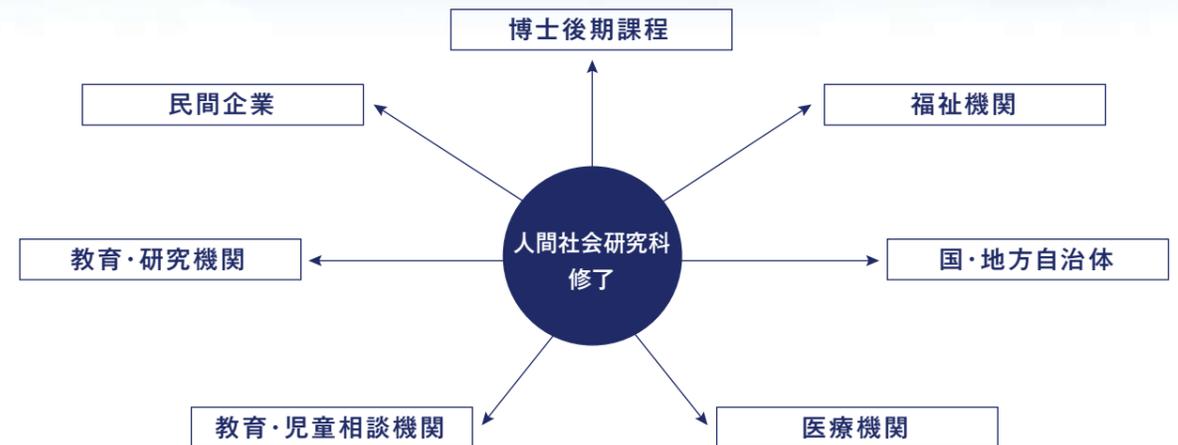
私は、社会福祉系の大学を卒業し、コンサルタントとして住まいづくりやまちづくりに関する仕事をしていますが、社会福祉分野からの専門的アプローチが求められていることを痛感し、もっと知見を深めようと2006年に人間社会研究科の門戸をたたき、現在は大学で教鞭をとっています。人間福祉専攻の素晴らしいところは、社会人が多く、同級生や先生方とともに、プロジェクトや研究会に参加して能動的に学ぶ環境とサポートが充実していることです。私は、ここで社会福祉学を研究するスキルを身に付けるとともに生涯の宝物であるネットワークと多くの師に出会いました。

修了者の進路

修了した方々は大学院での豊かな経験を活かし、様々な進路をとっています。

また、働きながら研究活動を行い、研究の成果を業務に活かされている方もいます。近年の主な進路先をまとめました。

大学院での研究活動を活かして未来の道を拓きませんか？



修了後の進路 (過去9年間分)

福祉社会専攻 ◎ 修士課程

・福祉機関	11名	・団体職員	2名
・民間企業	9名	・社会人入学で修了後も在職	18名
・進学(博士後期課程ほか)	8名	・その他	13名
・公務員	2名	・研究生	4名
・独立行政法人	1名	・教員	1名

臨床心理学専攻 ◎ 修士課程 「臨床心理士」資格取得者 2004~2012年度修了生 110名受験 104名合格

・医療機関(心理職)	34名	・団体職員	5名
・医療機関	3名	・民間企業(心理職・総合職)	7名
・教育相談機関(心理職)	28名	・児童福祉相談所関係(心理職)	14名
・スクールカウンセラー	11名	・進学(博士後期課程ほか)	5名
・福祉機関(心理職)	11名	・大学学生相談室	2名
・公務員(含む心理職)	13名	・その他	1名

人間福祉専攻(学位取得者23名) ◎ 博士後期課程

・私立大学教員	12名	・医療機関(福祉職)	1名
・国立大学教員	1名	・教員	1名
・私立大学研究員	4名	・公務員	2名
・独立行政法人研究員	1名	・団体職員	1名

※継続在職も含む

キャンパス紹介



◀ 臨床心理学専攻の学生が臨床心理士をめざし実習を行う施設です。面接室2つ、プレイセラピー室3つ、グループ療法室1つを備えた充実した環境で、臨床心理士の資格を持ったカウンセラーによる指導が行われます。

大学院は、もっと学びやすくなります!

法政大学大学院では、より幅広い優秀な人材を受け入れるための学生支援策として、2010年4月より学費の改定を行い、文系・理系とも12~35%程度の値下げとなりました。それとあわせて、奨学金制度やティーチングアシスタント(TA)制度、リサーチアシスタント(RA)制度も充実させ、経済面からも大学院での研究活動を支援しています。

福祉社会専攻および臨床心理学専攻は、本学を含めた11大学から成り立つ首都大学院コンソーシアムに加盟し、さらに福祉社会専攻は、本学を含めた12大学から成り立つ大学院社会福祉学専攻課程協議会に加盟しているなど、他大学院での科目を修得することで修了単位に認定される単位互換制度を設けています。

首都大学院コンソーシアム

順天堂大学大学院、専修大学大学院、中央大学大学院、東京電機大学大学院、東京理科大学大学院、東洋大学大学院、日本大学大学院、明治大学大学院、共立女子大学大学院、玉川大学大学院

大学院社会福祉学専攻課程協議会協定校

上智大学大学院、明治学院大学大学院、日本女子大学大学院、東洋大学大学院、淑徳大学大学院、日本社会事業大学大学院、大正大学大学院、立正大学大学院、ルーテル学院大学大学院、関東学院大学大学院、立教大学大学院

≫ 入試日程および選抜方法 [※詳細は入学試験要項にてご確認ください]

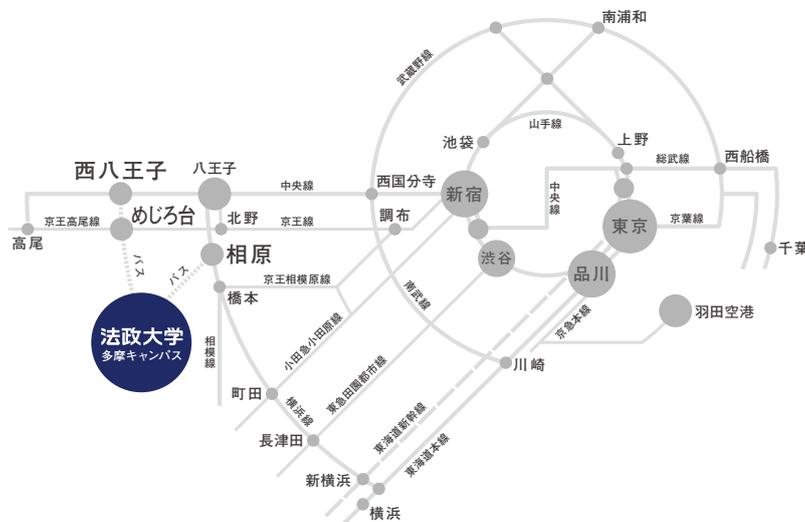
専攻	募集定員	入試経路	出願期間	筆記試験日	口述試験日	最終合格発表	選抜方法
福祉社会	15名	一般社会人	2014年 8月28日(木) ~ 9月 4日(木)	9月21日(日)	9月21日(日)	10月3日(金)	一般 ▶ 筆記試験(英語・専門科目)および口述試験(面接) ※英語は英和・英英辞典持込参照可
		外国人留学生	2014年 8月21日(木) ~ 8月28日(木)	9月21日(日)	9月21日(日)	10月3日(金)	社会人 ▶ 筆記試験(専門科目)および口述試験(面接)
		一般社会人	2015年 1月22日(木) ~ 1月29日(木)	2月21日(土)	2月21日(土)	3月2日(月)	外国人留学生 ▶ 筆記試験(専門科目)および口述試験(面接) ※筆記・口述試験とも日本語による
		外国人留学生	2015年 1月15日(木) ~ 1月22日(木)	2月21日(土)	2月21日(土)	3月2日(月)	研修生 ▶ 筆記試験(専門科目)および口述試験(面接) ※筆記・口述試験とも日本語による
		研修生(留学生含む)	2015年 1月15日(木) ~ 1月22日(木)	2月21日(土)	2月21日(土)	3月2日(月)	
臨床心理学	15名	一般	2014年 8月28日(木) ~ 9月 4日(木)	9月21日(日)	9月24日(水)	10月3日(金)	第一次審査 ▶ 筆記試験(専門基礎・専門論述・英語) ※英語は英和辞典のみ持込参照可
		一般	2015年 1月22日(木) ~ 1月29日(木)	2月21日(土)	2月25日(水)	3月2日(月)	第二次審査 ▶ 口述試験(面接)〔筆記試験合格者のみ〕
人間福祉	5名	一般	2015年 1月22日(木) ~ 1月29日(木)	2月21日(土)	2月21日(土)	3月2日(月)	筆記試験(英語)および口述試験(面接)

≫ 進学相談会日程 各専攻の教育内容の説明・教員による個別面談・入試要項配布

日程	場所	専攻
2014年 6月28日(土) 13時 ~ 15時	市ヶ谷キャンパス	福祉社会専攻 臨床心理学専攻 人間福祉専攻
2014年 7月19日(土) 13時 ~ 15時	市ヶ谷キャンパス	福祉社会専攻 臨床心理学専攻 人間福祉専攻
2014年 8月 9日(土) 13時 ~ 15時	多摩キャンパス	福祉社会専攻 人間福祉専攻
2014年11月 8日(土) 13時 ~ 15時	市ヶ谷キャンパス	福祉社会専攻 臨床心理学専攻 人間福祉専攻
2014年12月13日(土) 13時 ~ 15時	多摩キャンパス	福祉社会専攻 臨床心理学専攻 人間福祉専攻

法政大学大学院をご紹介する全体説明会など詳細は法政大学大学院ホームページよりご確認ください

www.hosei.ac.jp/gs/



- JR中央線 新宿駅から快速で54分(特別快速で42分)、西八王子駅下車
バス約22分(「法政大学」下車)
- JR横浜線 新横浜駅から38分、相原駅下車
バス約13分(「法政大学」下車)
- 京王線 新宿駅から準特急で40分(急行50分)、めじろ台駅下車、
バス約10分(「法政大学」下車)

法政大学大学院 人間社会研究科

〒194-0298 東京都町田市相原町 4342
TEL.042-783-4047 / FAX.042-783-2808
E-mail:fukushi@hosei.ac.jp

www.hosei.ac.jp/ningenshakai/

資料請求はこちらへアクセス
www.hosei.ac.jp/gs/nyushi/